

うつくしま 子ども 夢プラン

(後期行動計画)

<平成25年3月 改定版>

概要



ふくしまから
はじめよう。

Future From Fukushima.

計画の理念、目標及び基本方針

< 背景 >

- ・東日本大震災の影響により、避難区域をはじめ広い地域で住民が県内外への避難を余儀なくされているほか、放射線の影響による健康上の不安を抱いている。
- ・かつては、子育ては大家族や集落、地域全体で行われてきたが、現在の社会においては、核家族化の進行、地域社会における人間関係の希薄化により子育てが孤立化しており、子育てに伴う不安や負担が増大。
- ・また、女性の社会進出が進み、子育てと仕事との両立、男性の子育てへの参画が望まれている。
- ・このように、現在の社会は、子育てしにくい社会になっており、少子化も急速に進行。
- ・子どもは社会の宝であり、子どもが大切にされ、健やかに成長することは社会全体の願い。

そのためには、福島県総合計画「ふくしま新生プラン」で掲げた基本目標「夢・希望・笑顔に満ちた“新生ふくしま”」を実現するため、また、福島県復興計画で主要施策の一つとして位置づけた「未来を担う子ども・若者の育成」を推進するため、社会全体で子育て・子育てを支援していく体制づくりを進めることが重要であり、県民を挙げて「子育て支援を進める県民運動」の展開を図る必要がある。

< 理念 >

社会全体での子育て・子育ての支援

< 目標 >

安心して子どもを生み、
育てることができる社会

子どもが大切にされ、
いきいきと育つことができる社会

子育て支援を進める県民運動

子どもや家庭への支援

東日本大震災を踏まえた

医療体制の整備と健康づくり

親と子のための保健・

子育ての支援

両立のための環境づくり

子育てと社会参加の

成長のための環境づくり

子どもの健やかな

子どもや家庭のための支援

援助を必要とする

次代の親の育成

計画の基本方針

1 東日本大震災を踏まえた子どもや家庭への支援

除染を進めることで放射線量の低減化を図るとともに、放射性物質による健康不安を解消するため、長期にわたる県民健康管理調査を継続していくほか、被災した子どもの心のケアの支援体制を整備します。

また、震災の体験を生かしたふくしまならではの教育を行うとともに、18歳以下の医療費無料化を図り、放射線量の低い地域での自然体験活動や屋内における遊び場を整備するなど、安心して子どもを生き育てられる環境づくりに取り組みます。

2 親と子のための保健・医療体制の整備と健康づくり

放射線の健康影響に関する正しい知識等の情報発信に努めるほか、食育を推進するなど親子の健康づくりを支援します。また、安心して出産できる保健・医療体制及び小児医療体制の整備を進めるとともに、不妊や不育に悩む夫婦のための対策を推進します。

3 子育ての支援

社会全体で子育て世帯を支援するため子育て支援を進める県民運動を一層推進します。

また、安心して子育てができるように放射線の健康影響に対する正しい知識をはじめとした相談・情報提供体制を整備するとともに、仕事と生活の調和(ワークライフバランス)等を推進する中で、多様な子育て支援サービスの整備・充実を図り、子育てに関する団体や高齢者等地域における様々な社会資源による子育ての支援を図ります。

4 子育てと社会参加の両立のための環境づくり

男女がともに子育てに関わっていく社会づくりを進めるとともに、子育てをしながら働き続けることのできる環境づくりのため、子育てに配慮した働き方の普及促進や職場における子育て支援の促進を図ります。

5 子どもの健やかな成長のための環境づくり

子どもが健やかに、また、個性豊かに育つことができるように、学校及び地域において震災を踏まえたふくしまならではの教育を推進するとともに、子どもにとって必要不可欠な遊びの充実や体験学習に係る環境整備を進めます。

また、子どもの人権に関する啓発等、子どもの健全育成を図るとともに、犯罪被害の防止や交通安全等子どもにとって安全で安心な地域づくりを進めます。

6 援助を必要とする子どもや家庭への支援

障がいのある子ども、家庭において適切な養育を受けることができない子ども、ひとり親家庭等の援助が必要な子どもや家庭への支援を進めます。また、児童虐待の防止体制を整備し、関係機関との協力・連携を図りながら支援等を進めます。

7 次代の親の育成

次代の親となるべき若者に対し、家庭を築き子どもを生き育てることの意義について教育や啓発を図るとともに、若者が自立して家庭を持てるようになるため、安定した就業に対する支援を進めるとともに、若者が互いに交流する機会を促進します。

うつくしま子ども夢プラン（後期行動計画）の施策体系

（基本方針）

東日本大震災を
踏まえた支援
家庭への支援

（基本的施策）

- 1 子どもの生活環境の回復
- 2 子どもの心身の健康を守る取組の推進
- 3 未来を担う子ども・若者の育成

（行動計画）

- | |
|---------------------------|
| 放射線量の低減化 |
| 給食の安全・安心確保 |
| 学校等の施設復旧 |
| 健康の保持・増進 |
| 子どもの心のケア |
| 日本一安心して子どもを 育てられる環境づくり |
| 生き抜く力を育む人づくり |

親と子の健康づくり
と健やかなる
親と子の健康づくり
と健やかなる

- 1 安心して出産できる保健・医療体制及び小児医療体制の整備
- 2 不妊や不育に悩む夫婦に対する支援
- 3 親と子の健康づくりに対する支援

- | |
|-----------------------------|
| 安心して出産できる保健・医療体制及び小児医療体制の整備 |
| 不妊や不育に悩む夫婦に対する支援 |
| 親と子の心と体の健康づくりに対する支援 |
| 食育の推進 |

子育ての支援

- 1 子育て等に関する相談・情報提供体制の整備
- 2 子育て家庭の経済的負担の軽減
- 3 地域における支援
- 4 子育て支援サービスの充実
- 5 子育てしやすい生活環境の整備

- | |
|-------------------------|
| 子育て等に関する相談・情報提供体制の整備 |
| 子育て家庭の経済的負担の軽減 |
| 子育て支援環境づくりに関する啓発・調査等 |
| 子育て支援団体等による子育て支援活動の充実 |
| 高齢者による支援 |
| 保育施設の整備の促進及び保育の質の向上 |
| 認可外保育施設への支援 |
| 多様なニーズに対応した子育て支援サービスの推進 |
| 子育てしやすい居住環境の整備 |
| 安心して子育てができるまちづくりの推進 |

子育て環境の両立
の加子育環境
の加子育環境
の加子育環境

- 1 男女共同参画による子育ての推進
- 2 仕事と生活の調和（ワークライフバランス）に配慮した環境の整備
- 3 出産・子育てのために退職した人に対する就業支援の推進

- | |
|-----------------------------------|
| 男女共同参画の推進 |
| 男性の子育て参画の推進 |
| 仕事と生活の調和（ワークライフバランス）に配慮した働き方の普及促進 |
| 育児休業制度等の定着と充実 |
| 出産・子育てのために退職した人に対する就業支援の推進 |

(基本方針)

子どもの健やかな成長のための環境づくり

(基本的施策)

- 1 学校教育の充実
- 2 地域における教育等の充実
- 3 放課後児童の健全育成の推進
- 4 子どもの権利や意見が大切にされる環境づくりの推進
- 5 子どもにとって安全で安心な地域づくりの推進

(行動計画)

- 豊かな心の育成
- 健やかな体の育成
- 確かな学力の育成
- 学校の教育環境の整備
- 幼児教育の充実
- 家庭教育への支援と地域と連携した教育の推進
- 子どもや青少年が健やかに育つことができる環境づくりの推進
- 遊びの環境の整備
- 体験学習の推進
- 困難を有する子どもに対する支援体制の整備
- 放課後児童の健全育成の推進
- 子どもの人権に関する啓発
- 子どもの声を尊重した子育て環境づくりの推進
- 子どもを犯罪等の被害から守るための活動の推進
- 子どもの交通安全を確保するための活動の推進

や援助家庭をの必要とする支援子ども

- 1 障がいのある子どもや家庭に対する支援
- 2 家庭での養育が困難な子どもに対する支援
- 3 ひとり親家庭に対する支援
- 4 児童虐待の防止及び様々な被害にあった子どもに対する支援

- 障がいのある子どもやその保護者に対する支援
- 障がい児に対する保育の充実や教育的支援
- 家庭での養育が困難な子どもに対する支援
- ひとり親家庭に対する支援
- 児童虐待の防止体制の整備
- 被害にあった子どもに対する支援体制の整備及びその親に対する対応

育次代の親の

- 1 思春期における健康教育の推進
- 2 家庭を築き子どもを生き育てるための環境づくりの推進

- 思春期における健康教育の推進
- 家庭を築き子どもを生き育てることの意義に関する教育・啓発の推進
- 若年者の就業に対する支援
- 若者の交流等への支援

うつくしま子ども夢プラン（後期行動計画）施策に関する指標一覧

| 指標名 | 年 | 現況値 | 見直し後の | 備考 |
|---|----|-----------|------------|-------------|
| | | (23年度等) | 目標値 | |
| 東日本大震災を踏まえた子どもや家庭への支援 | | | | |
| 1 甲状腺検査の受診率 | 23 | 79.8 % | 100.0 % | |
| 2 放射線教育に係る授業を実施した学校の割合(公立小・中学校) | 24 | 100.0 % | 100.0 %維持 | |
| 3 防災教育に係る授業(避難訓練を除く)を実施した学校の割合(公立小・中学校) | 24 | 96.0 % | 100.0 % | |
| 4 県立学校施設の耐震化率 | 23 | 71.2 % | 88.0 % | |
| 5 (参考数値)ホールボディカウンター検査実施状況 | 23 | 31,622 人 | 増加を目指す | |
| 6 (参考数値)ふくしまの赤ちゃん電話健康相談件数 | 24 | 841 件 | 適切に対応する | 24年度は6月～12月 |
| 7 (参考数値)公立小・中学校施設の耐震化率 | 23 | 72.1 % | 上昇を目指す | |
| 8 (参考数値)児童福祉施設(保育所・児童厚生施設・児童養護施設等)の耐震化率 | 24 | 69.8 % | 上昇を目指す | |
| 親と子のための保健・医療体制の整備と健康づくり | | | | |
| 9 周産期死亡率(出生数千人対) | 23 | 3.6 | 3.5 以下 | |
| 10 乳児死亡率(出生数千人対) | 23 | 2.3 | 2.0 以下 | |
| 11 1歳6ヶ月児健診の受診率 | 22 | 96.1 % | 100.0 % | |
| 12 3歳児健診の受診率 | 22 | 93.9 % | 100.0 % | |
| 13 養育支援訪問事業実施市町村率 | 23 | 49.2 % | 50.8 % | |
| 14 乳児家庭全戸訪問事業実施市町村率 | 23 | 91.5 % | 100.0 % | |
| 15 朝食を食べる児童・生徒の割合 | 23 | 96.3 % | 96.6 %以上 | |
| 16 (参考数値)合計特殊出生率 | 23 | 1.48 | 上昇を目指す | |
| 17 (参考数値)出生数 | 23 | 15,072 人 | 増加を目指す | |
| 18 (参考数値)小児救急電話相談事業相談件数 | 23 | 7,003 件 | 適切に対応する | |
| 19 (参考数値)学校給食における地場産物活用割合 | 24 | 18.3 % | 上昇を目指す | |
| 子育ての支援 | | | | |
| 20 子育て支援等に関するホームページへのアクセス件数 | 23 | 155,215 件 | 160,000 件 | |
| 21 メールマガジン「ふくしまエンゼルサポート」登録者数(累計) | 23 | 220 人 | 250 人 | |
| 22 子育て支援を進める県民運動関連事業参加者数(22～26年度累計) | 23 | 90,208 人 | 150,000 人 | |
| 23 地域子育て支援拠点施設数(累計) | 23 | 75 ヶ所 | 95 ヶ所 | |
| 24 ファミリー・サポート・センターの設置数(累計) | 23 | 26 ヶ所 | 29 ヶ所 | |
| 25 保育所入所待機児童数 | 23 | 124 人 | 55 人以下 | |
| 26 延長保育実施施設数 | 23 | 222 ヶ所 | 229 ヶ所 | |
| 27 休日保育実施施設数 | 23 | 7 ヶ所 | 18 ヶ所 | |
| 28 一時預かり実施施設数 | 23 | 114 ヶ所 | 124 ヶ所 | |
| 29 病児・病後児保育実施施設数 | 23 | 14 ヶ所 | 26 ヶ所 | |
| 30 認可外保育施設における有資格者数割合 | 24 | 74.9 % | 78.8 % | |
| 31 乗合バス会社におけるノンステップバスの導入率 | 22 | 4.6 % | 5.0 %以上 | |
| 32 すべての人が安心して通れるように配慮して整備された歩道の延長 | 23 | 567.0 km | 610.0 km以上 | |
| 33 「やさしさマーク」交付数(累計) | 23 | 407 件 | 427 件 | |
| 34 おもいやり駐車場協力施設数(累計) | 23 | 1,097 ヶ所 | 1,137 ヶ所 | |
| 35 (参考数値)バリアフリー化施設整備が完了した主要鉄道駅の数(累計) | 23 | 10 駅 | 増加を目指す | |

うつくしま子ども夢プラン（後期行動計画）施策に関する指標一覧

| 指標名 | 年 | 現況値 | 見直し後の | 備考 |
|--|----|-------------------------|------------------------|----|
| | | (23年度等) | 目標値 (26年度) | |
| 子育てと社会参加の両立のための環境づくり | | | | |
| 36 男女共生センターにおける男女共同参画に関する講座の受講者数(22～26年度累計) | 23 | 2,955 人 | 4,000 人 | |
| 37 市町村における男女共同参画計画の策定率 | 24 | 44.1 % | 47.5 % | |
| 38 ポジティブ・アクションの措置がある企業の割合 | 23 | 3.9 % | 10.0 % | |
| 39 福島県次世代育成支援企業認証数(累計) | 24 | 424 社 | 480 社以上 | |
| 40 年次有給休暇の取得率 | 23 | 47.8 % | 60.0 % | |
| 41 育児休業取得率(女性) | 23 | 97.3 % | 97.3 % | |
| 42 育児休業取得率(男性) | 23 | 1.2 % | 2.2 % | |
| 43 出産、育児等を理由とした退職者の再雇用特別措置を設けている企業の割合 | 23 | 13.4 % | 20.0 % | |
| 子どもの健やかな成長のための環境づくり | | | | |
| 44 不登校の件数 | 23 | 1,491 人 | 1,278 人以下 | |
| 45 いじめの解消率 | 23 | 92.6 % | 100.0 % | |
| 46 全国体力・運動能力等調査結果(全国平均との比較割合・全国平均 = 100) (小学校5年生男子) | 22 | 99.1 | 99.4 以上 | |
| 47 全国体力・運動能力等調査結果(全国平均との比較割合・全国平均 = 100) (小学校5年生女子) | 22 | 101.0 | 101.3 以上 | |
| 48 全国体力・運動能力等調査結果(全国平均との比較割合・全国平均 = 100) (中学校2年生男子) | 22 | 98.2 | 98.9 以上 | |
| 49 全国体力・運動能力等調査結果(全国平均との比較割合・全国平均 = 100) (中学校2年生女子) | 22 | 97.4 | 98.1 以上 | |
| 50 全国学力・学習状況調査結果(全国平均正答率との比較割合・全国平均 = 100) (小学校・国語) | 24 | 99.7 | 100.6 以上 | |
| 51 全国学力・学習状況調査結果(全国平均正答率との比較割合・全国平均 = 100) (小学校・算数) | 24 | 97.7 | 98.9 以上 | |
| 52 全国学力・学習状況調査結果(全国平均正答率との比較割合・全国平均 = 100) (中学校・国語) | 24 | 101.9 | 102.3 以上 | |
| 53 全国学力・学習状況調査結果(全国平均正答率との比較割合・全国平均 = 100) (中学校・数学) | 24 | 98.7 | 99.7 以上 | |
| 54 公立幼稚園における小学校との連携活動実施率 | 23 | 96.7 % | 100.0 %以上 | |
| 55 有益な映画、書籍等の推奨数(累計)映画 | 24 | 86 本 | 87 本 | |
| 56 有益な映画、書籍等の推奨数(累計)図書 | 24 | 131 冊 | 140 冊 | |
| 57 一人当たりの都市公園面積 | 21 | 12.43 m ² /人 | 12.5 m ² /人 | |
| 58 尾瀬で自然環境学習を行った県内児童生徒数 | 23 | 769 人 | 1,100 人以上 | |
| 59 放課後児童クラブ設置数 | 23 | 328 ヶ所 | 362 ヶ所 | |
| 60 (参考数値)いじめの認知件数 | 23 | 175 件 | 適切に対応する | |
| 61 (参考数値)暴力行為の発生件数 | 23 | 202 件 | 減少を目指す | |
| 62 (参考数値)子ども(中学生以下)の交通事故死傷者数 | 24 | 664 人 | 減少を目指す | |
| 援助を必要とする子どもや家庭のための支援 | | | | |
| 63 個別の教育支援計画の作成率 | 24 | 76.1 % | 100.0 % | |
| 64 (参考数値)ひとり親家庭への医療費助成事業受給資格登録世帯数 | 23 | 20,698 件 | 適切に対応する | |
| 65 (参考数値)児童虐待相談受付件数 | 23 | 262 件 | 適切に対応する | |
| 次代の親の育成 | | | | |
| 66 「性に関する指導」の手引き活用率 | 24 | 87.2 % | 100.0 % | |
| 67 薬物乱用防止教室の受講率(中学生) | 23 | 22.7 % | 25.0 % | |
| 68 県立高校生の就職決定率 | 23 | 97.6 % | 100.0 % | |
| 69 (参考数値)10代の人工妊娠中絶実施率 | 23 | 7.6 ‰ | 減少を目指す | |
| 70 (参考数値)独身男女の出会いを支援するイベントの開催件数 | 23 | 68 件 | 増加を目指す | |